

# 25年4月期売上高61億円へ

## おとうふ工房いしかわ、経営発表会

【刈谷】大豆加工品の製造販売を手掛ける、おとう

ふ工房いしかわ（本社高浜市）は、刈谷市産業振興センターで取引先向けに経営指針発表会を開催した。営業体制の強化などで、2025年4月期の売上高は前期比11・4%増の61億27



石川社長のほか、各部門の責任者が事業方針を説明した

00万円を目指す計画を明らかにした。

前期の売上高は23年4月期比5・6%増の54億9800万円。新規出店などが寄与した。

今期の事業方針として、営業や生産体制などを強化する方針を説明した。営業では、市場規模が大きい関東や関西で人員を増やすなどして、体制を手厚くする。

営業担当者が商品開発の会議に参加し、営業の意見を取り入れた商品開発も進める。

販売チャネルの開拓では、外食チェーンや食品工場への供給にも力を入れる。店舗政策については、改装などで既存店を強化するほか、冷凍商品の販売を強化する方針を打ち出した。工場での新規設備の導入や増産計画も紹介した。

石川伸社長は、昆虫の話を引き合いに出し、イモムシからチョウになる「変態」を通じ、幼虫の時には行けなかった場所に行けることを紹介。これを企業経営に置き換え、「今期の経営方針として、変態になることを掲げた。自分を新しくつくりかえる素晴らしいプロセスこそが変態」と述べ、成長戦略の視点として重視する考えを示した。